



TITLE:

米國ノ貿易制限策

AUTHOR(S):

戸田, 海市

CITATION:

戸田, 海市. 米國ノ貿易制限策. 經濟論叢 1917, 5(6): 877-893

ISSUE DATE:

1917-12-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127301>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

經濟論叢

第 五 卷 第 六 號

大 正 六 年 二 月 一 日 發 行

論 說

社會學ト社會科學(二).....

文學士

高田 保馬

租稅ニ於ケル強制ト任意.....

法學博士

神戶 正雄

總同盟罷工論.....

法學士

河田 嗣郎

經濟的行爲ト道德的行爲ト關係(三).....

法學博士

田島 錦治

墨子ノ經濟思想(二完).....

法學士

小島 祐馬

西歐主義(三).....

文學士

米田 庄太郎

土佐藩ノ地割制度(三).....

法學博士

小野 武夫

時事問題

日米協定ト日本ノ經濟.....

法學博士

神戶 正雄

米國ノ貿易制限策.....

法學博士

戸田 海市

雜 錄

佛國ノ戰時食料政策.....

法學士

山本美越乃

英國戰前ノ海運及貿易情況.....

法學士

小島昌太郎

最近獨逸經濟思潮.....

法學博士

櫛田 民藏

日英ノ物價趨勢.....

法學士

神戶 正雄

日英ノ物價趨勢.....

法學士

河田 嗣郎

米國ノ貿易制限策

戸田 海市

一

一國カ戰爭狀態ニ入レハ經濟上其國ノ貨物ト勞動ノ一部ヲ直接戰爭ノ目的ノ爲メニ利用シ、他ノ部分ヲ以テ國民ノ生活ヲ支ヘ、且ツ戰後ノ經濟上ノ恢復發展ノ目的ニ利用セテハナラス。植民地戰爭ト云フカ如キ小規模ノ戰爭ノ場合ニハ此等ノ目的ヲ達スルカ爲メ成ルヘク平時ノ經濟組織ヲ維持シテ廣ク個人ノ自由行動ヲ認メ、國家ハ其財政上ノ力ニ由リ主ニ自由契約ヲ以テ、即チ賣買雇傭貸借等ノ形式ヲ以テ個人ノ所有物ト勞動トヲ取得利用スルコトモ出來ルノテアルガ、今日ノ歐洲戰爭ノ如ク大規模ノ戰爭ノ場合ニハ到底此ノ如キ平時の方法ニ由リ迅速正確且ツ廉價ニ其目的ヲ達スルコトカ困難トナリ、國家ノ強制力ニ由リテ貨物ト勞動トヲ支配スルノ必要カ多クナルハ已ムヲ得ナイ。先ツ對内經濟關係ニ付テ見ルニ、今日多クノ交戰國ハ戰時的増稅ノ外ニ愛國的性质ヲ帶ヘル公債ヲ募リ、尙ホ財政ノ運用上證券動員ヲモ斷行シ、諸般ノ生産交通業ニ對シテハ所謂工業又ハ産業動員ヲ行フテ軍需品ノ生産ニ必要ナル徵發管理ヲ行ヒ、勞動ニ對シテハ兵役ヲ

極度ニ擴張シタル上ニ所謂國民勞役制度ヲモ行ヒ、更ニ一般ノ交通取引ニ對シテハ暴利取締及價格制限ヲ行フノ外ニ、必要品ノ強制分配ト消費ノ制限トヲ行ヒ、同時ニ英國ノ如キハ食物ノ生産ヲ獎勵スル爲メ其生産物ノ最低價格ヲ保證シ、資本ト勞働トノ關係ヲ圓滑ナラシムル爲メニハ汎ク最低勞銀ヲ定ムルト同時ニ勞働運動ニモ種々ノ制限ヲ加ヘ、又對外經濟關係ニ付テハ種々ノ禁止制限ヲ行フト同時ニ、軍需品及生活必要品ノ多數ニ付テハ國家自カラ之ヲ輸出入スルノ方法ヲ探リツツアル。

米國ノ參戰ノ動機ニ付テハ世間ニ種々ノ議論カアツテ、予輩モ之ニ關シテ本誌前號ニ卑見ヲ述ヘタガ、其動機ノ如何ヲ問ハス、實際今日ハ聯合國ニ對スル物貨供給及財政的援助ト海陸軍備及海運造船事業ノ擴張ヲ大々的規模ヲ以テ行ヒ、最近ニハ之カ爲メニ一日平均四千萬弗ヲ支出スルニ至ツタ。此ノ如キ大規模ノ參戰計畫ヲ遂行スルカ爲メニハ歐洲交戰國ト類似スル所ノ戰時經濟策ヲ行ヒ、貿易ニ付テモ輸出ニ對シテハ既ニ廣汎ナル制限ヲ行ヒ、又今後輸入ニ付テモ必要ニ應シテ大統領令ニ由リ之ヲ行ヒ得ルコトトシタ。本來米國ハ我貿易ノ相手トシテ最モ重要ノ地位ヲ占メテ居タガ、歐洲交戰國ノ貿易制限ノ嚴重トナリシ以來、我貿易上米國ハ益重要ノ地位ヲ占ムルニ至ツタ。故ニ其參戰ニ伴ヘル貿易制限ハ我國ノ經濟ニ大打撃ヲ加フルコトトナツタ。是レヨリ米國ノ既ニ實行セル輸出制限ノ我經濟ニ對スル關係ヲ研究シ、又今後米國カ輸入ニ付テモ制限ヲ

加フルノ必要ヲ生スヘキヤ、之ヲ生シタ場合ニハ我カ對米輸出カ如何ナル影響ヲ受クヘキヤノ大要ヲ述ヘル。

一

工業ノ尙ホ幼稚ナル我國ハ戰爭前ニハ主ニ歐洲先進國ヨリ高級工業品ノ供給ヲ仰キツツアツタガ、此等ノ國カ戰爭ノ爲メ重要工業品ノ輸出ヲ禁止シ又ハ其輸出ノ不能トナツテ以來ハ、米國カ之ニ代ツテ或程度マテ其供給ヲ爲シ、特ニ其鐵材機械類ノ供給ハ新タニ勃興セシ我カ造船業ニ取ツテ非常ニ重要トナツタ。故ニ米國ノ鐵類ニ對スル嚴重ノ輸出制限ハ我カ造船業ニ對シテ大打撃ヲ加フルコトトナツタ。此問題ニ付テハ既ニ充分ニ論セサレタヤウテアルカラ茲ニ詳論スルコトヲ止メ、只タ此問題ヲ理解スルニ付テ二三ノ重要ナル點ヲ述ヘル。鐵ハ戰爭ニ最モ重要ノ關係ヲ有スルモノテアルガ、佛國ニ於テハ勿論、英國ニ於テモ鐵材生産ヲ増加スルノ餘力カナク、之ニ加工シテ軍需品ヲ作ルコトニ忙殺セラレ、國內ニ於ケル鐵鋼材ノ生産ハ次第ニ減少シテ之カ供給ヲ米國ヨリ仰クコトカ大ニ増加シツツアル。故ニ戰爭カ更ニ久シク繼續スレハ米國カ主タル鐵材供給ノ任務ヲ負擔スルコトカ必要トナル。幸ニ米國ハ開戰以來鐵ノ生産ヲ三割餘モ増加スルコトヲ得タガ、近來ハ勞働ノ缺乏カ甚シクナリ、加フルニ參戰計畫ノ遂行ニ伴ヒ鐵ニ加工シテ軍需品ヤ船舶ヲ作ルコトカ益々急務トナツテ、鐵材ヲ増加スルコトハ困難トナリツツアル。故ニ米國ハ

今後鐵ヲ國內ニ保存スルコトニ非常ノ注意ヲ爲スノ必要カアル。米國カ直接戰爭用以外ノ目的ニ要スル鐵ヲ輸出スルコトヲ殆ント絶對ニ禁止セントスルハ之カ爲メテアル。又米國ハ戰爭前ニ鐵ノ年産額三千萬噸ノ大部分ヲ國內ニ消費シツツアツテ、其國民ノ生活及産業ニ鐵ヲ要スルノ大ナルコトハ殆ント吾人ノ想像シ得サル程テアル。然ルニ戰爭以來鐵類ノ輸出ガ急激ニ増加シテ遙カニ其生産ノ増加ヲ超過シ、之カ爲メ國內市場ニ於ケル鐵ノ缺乏ト騰貴トカ著シクナツテ、國民ノ生活及産業ニ甚シキ苦痛ヲ與ヘルコトナツタ。故ニ米國ニ於テハ必要品ノ價格調節ノ上ヨリ見テモ鐵ノ輸出ニ制限ヲ加フルコトカ必要トナツタノテアル。

米國ノ戰時政策ノ中其ノ偉大ナル商船増加及造船事業擴張ノ計畫ハ最モ注目スヘキモノテアル。此政策ハ獨逸ノ潛航艇戰ニ對抗シテ味方ヲ援助スルニ最モ必要ノモノテアルト同時ニ、戰後ニ於テ米國カ海運及造船事業ニ付キ優勢ノ地位ヲ得ントスルノ目的ヲ以テ行ハルルモノテアルコトハ疑ヲ容レナイ。元來米國ノ海運及造船事業ハ其貿易ノ大ナルニ比シテ甚タ微々タルモノテアツタ。然ルニ近來米國ノ經濟カ大ニ商工業化シ、從ツテ其輸出品モ原始生産物ヨリ次第ニ工業品ニ移ラントシツツアツタガ、此戰爭ニ由テ其工業カ急速ノ進歩ヲ爲シ、從ツテ戰後ニハ其工業品ノ輸出ノ爲メ汎ク世界各國ニ有利ノ市場ヲ求ムルノ必要ヲ生シ、一面米國ノ戰時ニ於ケル金融上ノ勢力ノ増加ハ能ク此ノ如キ輸出貿易ノ發展ヲ援助スルノ實力ヲ生シタカラ、此上ハ是非トモ海運

業ヲ振興シ、又之ニ伴フテ造船事業ヲモ發達セシムルコトヲ必要トスルニ至ツタ。云フ迄モナク一國ノ海運及造船ヲ發達セシムルコトハ海軍ノ勢力ヲ確立スルニ缺クヘカラルサルモノデアツテ、又積極的ニ貿易ヲ伸長セシメントスレハ相當ノ海軍ヲ備ヘテ貿易上ノ利益ヲ保護スルコトモ必要テアル。米國カ海軍ヲ擴張スルト同時ニ海運及造船ノ發達ニ努力スルノ程度ハ歐洲戰爭以來特ニ強マリ、既ニ獨逸ニ對シテ國交斷絶ヲ行フ以前ヨリ大規模ノ海軍擴張ヲ計畫スルト同時ニ、船舶國有法ヲ制定シ、又商船ヲ外國ニ賣却シ傭船スルコトヲ禁止シタノテアルガ、國交斷絶ニ次テ宣戰ヲ爲スニ及ヒ其努力ハ益強マリ。遂ニ商船ノ徵發及造船材料ノ輸出禁止ヲ厲行スルニ至ツタ。米國カ此ノ如キ禁止政策ヲ實行スルニ付テハ、直接戰爭ノ目的ノ爲メニスル場合ニ關シテ例外ヲ認ムルモ、此外ニ相手國ノ何レナルヤニ由リ差別ヲ附スルコトナク、一樣ニ之ニ對シテ禁止ヲ厲行シ、之カ爲メ各國ハ大ニ不利ヲ蒙ムルコトナツタ。戰爭以來歐洲諸國ヨリ米國ニ對シテ造船材料カ注文セラルルノミナラス、造船ノ注文モ盛ンニ起ツテ居タガ、今回米國ハ外國ノ注文ニ係ハル一切ノ造船ヲ政府ニ徵發シ、之カ爲メ英國ノ如キハ百五十萬噸ノ商船ヲ失フニ至ツタト稱セラレル。既ニ英國ニ對シテモ此ノ如キ嚴重ノ政策ヲ斷行シテ米國自身ノ商船増加ニ努ムル上ハ、造船材料ノ輸出ヲ禁シテ自國ノ造船業ノ發達ヲ圖リ、之カ爲メニハ我國ノ蒙ムル不利ヲ多ク顧慮セサルハ怪シムヲ要シナイ。而シテ金屬工業ノ微々タル我國ニ於テモ戰爭以來造船業カ急激ノ膨

賑ヲ爲セシ事實ヨリ推セハ、三千萬噸ノ鐵ヲ消化スルニ足ル大金屬工業ヲ有スル所ノ米國カ、此際急速ニ大規模ノ造船事業ヲ起スコトハ不能テアルマイガ、併シ世間ニ傳ヘラルルカ如ク九百萬噸ノ造船ヲ一年内ニ竣功スルコトハ頗フル困難ヲアラウ。米國ノ製鐵業ハ四千餘萬噸ノ年産額即チ世界ノ總生産ノ半ハ以上ヲ生産スルノ大能力ヲ有スル故、上述ノ造船計畫ニ必要トスル造船材料ヲ生産スルコトハ困難テアルマイガ、併シ新タニ造船業ヲ上述ノ如ク急速ニ發達セシムルコトハ殆ント不能テアル。然ルニ米國ノ造船材料ノ輸出禁止ノ爲メニ我國ノ造船能力ハ過剩ヲ生セントシツアル故、米國ヨリ造船材料ヲ供給シテ此過剩ノ造船能力ヲ利用シ、日米相協力シテ船舶ノ増加ヲ急キ、以テ聯合國ヲ援助スルコトヲ必要トスル。只タ米國ニシテ此際自國ノ造船業ヲ發達セシムルコトニ重キヲ置キ、之カ爲メニハ聯合國援助ノ船舶ノ増加カ幾分カ脱ルルヲモ厭ハナイナラハ、我造船業カ米國ヨリ鐵材ヲ得ルコトハ望ミ難イ。過剩ヲ呈セントシツアル我カ造船能力ヲ利用スルコトハ聯合國全體ノ緊要問題テアツテ、獨リ日米間ノ問題テハナイノテアル。

三

米國カ最近ニ金ノ輸出ヲ禁止シタコトハ其ノ鐵ノ輸出禁止ヨリモ更ニ我國ノ對外經濟關係ニ對シテ廣汎ナル影響ヲ及ボスコトナツタ。元來米國ハ戰爭以來大ナル輸出超過ヲ生シテ、其ノ主ナル部分ヲ聯合國ニ對スル融通ニ充テタニ係ハラス、尙ホ二十餘億ノ正貨ノ流入ヲ生シテ今日ハ六

十餘億ノ正貨ヲ有スルニ至ツタ。併シ米國ハ參戰ト同時ニ大ニ聯合國ニ對スル貸付ケヲ増加シ、又軍需品ノ供給ニモ努力スルト同時ニ、汎ク輸出禁止ヲ行フテ今日ハ其全力ヲ聯合國援助ト軍備擴張及海運建設ニ注クコトナリ、之カ爲メ聯合國ニ對スル公私ノ輸出ハ増加シテモ、其代價タル正貨ハ國內ニ入り來ラス、一面ニ中立國ヨリノ原料輸入ハ大ニ増加シタルモ、之ニ對スル輸出ハ減少シタルカ爲メニ正貨ノ流出ヲ生シタ。加之從來金ノ自由市場トシテ世界的決濟ノ作用ヲ爲シツツアツタ英國カ事實上金ノ輸出ヲ止メタ爲メニ世界的決濟ノ任務カ米國ニ移リ、從ツテ米國ノ金市場ハ中立諸國ヨリ歐洲交戰國ニ對シテ行ヘル巨額ノ輸出超過ノ決濟ヲモ引受クルノ必要ヲ生シテ金ノ流出ハ益々増加スルニ至ツタ。聯合國ニ對シテ財政的援助ヲ負擔セル米國ハ今後戰爭ノ經過ニ伴ツテ如何ナル巨額ノ正貨ヲ必要トスルニ至ルヤノ測ラレサルノミナラス、戰後ニ於テモ其金融上ノ地位ヲ鞏固ナラシメントスレハ充分ノ正貨ヲ保有スルコトヲ必要トスル故、遂ニ金ノ流出ヲ禁止スルニ至ツタ。今日マテ此禁止ノ經過ヲ見ルニ頗フル嚴重ニ實行セラレ、米國ト政治上經濟上特別ノ關係ヲ有スル南米諸國、特ニ珈琲羊毛砂糖硝石等ノ必要品ヲ輸入シ來ル所ノ南米諸國ニ對シテモ金ノ輸出ヲ許ルサナイ。固ヨリ南米諸國ハ其經濟力貧弱テアツテ輸出代金ヲ久シク米國金融市場ニ蓄積スルノ實力ヲ缺ク故、之ニ對シテ米國カ禁止ヲ厲行スルトキハ、遂ニ米國ハ羊毛珈琲等ノ必要品ヲ得ルコトカ困難トナラサルヲ得ナイ。故ニ結局米國ハ必要品ノ輸入上

已ムヲ得サル場合ニハ金ノ輸出ヲ特許スルコトトナルテアラウガ、此場合ニモ輸入品ノ種類性質ニ由テ特許ヲ定メ、相手國ノ如何ニ由テ其間ニ差別ヲ設ケサルコトハ、一般ノ貿易制限ニ關スル方針ト同一トナルテアラウト信スル

我國ニ對シテ金ノ只一ノ供給者タリシ米國カ其輸出ヲ禁止シタ爲メニ我國モ亦同様ニ其輸出ヲ禁止シタ。此政策ノ當否ハ後ニ論スルコトトシ、先ツ米國ノ禁止ノ結果ニ付テ見ルニ、其禁止ニ由テ世界各國ハ共同決濟ノ便宜ヲ失フコトトナツタ。今日支那ハ尙ホ金銀ノ輸出ヲ禁止セサルモ、近來支那市場ニ於テ正貨ノ缺乏甚シクナリ、實際ニ於テ之ヲ輸出スルノ能力カナイ。又南米諸國ハ夙ニ不換紙幣國トナツテ金ノ輸出カ行ハレナイ。故ニ今日尙ホ國內ニ正貨ノ流通スル國ハアツテモ、貿易關係ヨリ見レハ世界ヲ舉ツテ不換紙幣トナツタト同様テアル。此ノ如キ狀態ノ下ニ於テ貿易ヲ繼續セントスレハ、各貿易相手國ニ對シテ個別的ニ輸出入ヲ平均セシメ、又到底之ヲ平均セシムルヲ得サル場合ニハ其差額ヲ貸借シテ決濟ヲ爲スノ外ハナイノテアルガ、此ノ如キ個別的ノ貿易平均及差額貸借ヲ實行スルコトハ甚タ困難テアル。例ヘハ我國ヨリ輸出超過トナレル米國ハ、我國ノ最モ多ク需用スル所ノ鐵類ノ輸出ヲ禁シタ爲メニ其超過カ益大トナリツツアルガ、我國カ貿易ヲ平均スル爲メニ高價ナル米國棉花ヲ巨額ニ輸入シテ廉價ナル印度綿ニ代ヘルコトハ困難テアル。又支那ニ對シテモ我貿易ハ大ナル輸出超過トナツテ居ルガ、銀價騰貴其他ノ事情ニ由

リ今日急ニ支那ノ原料ヲ巨額ニ輸入シテ貿易ヲ平均セシムルコトモ困難ナル。故ニ此等ノ國ニ對シテ輸出超過ノ貿易ヲ繼續セントスレハ、公私ノ力ニ由テ其超過額ニ相當スル資金ヲ之ニ投下スルノ外ハナイ。最モ米國ノ如ク信用ノ大ナル國ニ對シテハ輸出超過ノ金額ヲ其金融市場ニ預託シ、之ヲ我カ兌換券發行ノ準備ニ繰入レ、以テ輸出爲替ノ資金ヲ作ルコトモ出來ルノテアルガ、若シ我國カ此ノ如キ在外正貨ノ方法ニ由リ兌換券ノ膨脹ヲ繼續セシメタナラハ、之カ爲メニ兌換ノ基礎ノ不安トナルハ勿論、内ニ在テハ物價騰貴ノ弊ヲ益甚シカラシメ、又貿易關係ニ於テハ物價騰貴ノ爲メニ輸出ノ不振ヲ來タシ、戰後ニ於テモ貿易上ノ競爭ヲ爲スニ大ナル困難ヲ感セサルヲ得ナイ。

更ニ我貿易ノ輸入超過トナレル相手國ノ中ニハ濠洲南亞南米等モアルガ、其ノ最モ重要ナルハ我紡績業ニ對シテ適當ノ棉花ヲ供給シ、且ツ支那ト相並ンテ我金屬工業ニ對シ銑鐵ヲ供給スル所ノ印度テアル。印度ハ戰爭以來輸出ヲ増加シツツアルモ、英國ヨリ代金ヲ受取ルコトノ困難ナ爲メニ其金融市場ハ甚シク逼迫シテ居ル、故ニ我國カ印度ノ金融市場ヨリ信用ヲ受ケテ棉花ノ輸入ヲ繼續スルコトハ不能テアリ、又英國ハ印度ニ金銀ヲ輸入シテ自國ノ戰時財政ノ運用ヲ困難ナラシムルコトヲ極力防止セントシツツアル故、我國カ英國ヨリ棉花代金ノ支拂上ノ便宜ヲ得ルコトモ容易ニ期待シ得ナイ。故ニ我國カ充分ノ印度綿ヲ得ントスレハ我國ヨリ印度ニ對シテ直接間接ノ

輸入ヲ増加シテ貿易ヲ平均セシメネハナラヌ。此目的ヲ達スル爲メニハ船舶管理令ヲ適當ニ運用シテ印度ニ對スル我カ輸出ノ船腹ヲ増加シ且ツ其運賃ヲ低下スルコトヲ最先ニ必要トスル。併シ印度ハ前述ノ如ク金融逼迫ノ爲メニ購買力カ減少シ、其貿易カ輸出超過ヲ増大セルニ係ハラス其輸入ハ次第ニ減少シツツアル。故ニ此際急ニ我カ對印輸出年額ヲ一億以上モ増加シテ貿易ヲ平均セシムルコトハ出來ナイ。我國ハ英米及南洋ニ對シテハ輸出超過トナツテ居ルガ、此等ノ國ノ貨物ハ多量ニ印度ニ輸入セラレツツアル。故ニ我國カ此等ノ國ニ對スル輸出超過ニ由テ得タル資金ヲ以テ其國ノ印度向キノ商品ヲ購入シ、之ヲ我商人船舶ニ由テ印度ニ輸入スルコトニ由リ、我國ト印度トノ貿易ノ平均ヲ圖ルト云フ仲間貿易ノ手段ヲ以テ印度綿ヲ得ルコトニモ努力セネハナラヌガ、併シ此方法ヲ實行スルトキハ印度ニ對スル英米ノ商權ヲ侵スコトトナル。特ニ英米ハ共ニ印度ヨリ輸入超過ノ貿易ヲ爲シツツアル故、成ルヘク多ク自國品ヲ自國ノ手ヲ以テ印度ニ輸入スルコトニ由リ貿易ヲ決濟スルノ必要カアリ、從ツテ我國カ印度向キノ英米品ヲ手ニ入レルコトハ商業上激烈ナル競争ヲ生スルコトヲ覺悟シテ努力セネハナラヌ。我國ハ英米ニ於テ輸出超過ニ由ル多額ノ資金ヲ有シテ其處分ニ苦シミ、又歐米航路ニ於ケル歸航ノ我船腹ハ常ニ過剩ヲ呈シツツアル故、此際上述ノ仲間貿易ノ手段ニハ大ニ力ヲ注カネハナラヌ、我國カ貿易及海運ニ付テ世界ニ發展セントスレハ直接貿易ノ外ニ仲間貿易ヲ盛ナラシムルコトカ必要テアリ、又戰爭以來我商

業及海運業ハ頗フル此方面ニ發展セントシツツアル故、印度綿花問題ノ起レルヲ機會トシテ之ヲ助長スルノ方法ヲ講スルコトヲ適當トスル。綿花ノ外ニ濠洲、南亞、亞爾然丁ノ羊毛ヤ智利ノ硝石ヲ得ルニ付テモ同様ノ問題カ起ルノテアル。

以上ノ如キ貿易手段ノ努力ニシテ充分ノ效果ヲ奏セサルトキハ、或程度マテ金ヲ輸出シテ綿花羊毛等ヲ得ルコトカ必要ナルテアラウガ、併シ一部ノ論者ノ主張スルカ如ク此等ノ努力ヲ等閑ニ附シテ今日ヨリ自由ニ金ヲ輸出シテ必要品ノ輸入ヲ圖ルノ方針ヲ取ルコトハ當ヲ得ナイ。世界ノ政治上經濟上ノ關係カ如何ニ變化スルヤノ測ラレサル今日ニ在テハ、出來得ル限り金ヲ保持シテ萬一ニ備ヘネハナラス。世間ニハ往々戰爭ノ終熄ト同時ニ戰時ノ貿易上ノ禁制モ解除セラルルカ如ク考ヘル者モアルガ、予輩ハ金ノ輸出禁止モ其他ノ貿易上ノ禁制ト同様ニ戰後モ或期間ハ繼續セラルルノ危險カ頗フル大テアルト信スル。國內ニ於テ正貨ハ必シモ重要テナイトシテモ、國際間ニ於テ政治上經濟上必要トスル所ノ行動ヲ探ルニハ正貨ヲ必要トスル場合多キカ故ニ、戰後各國ハ自己ノ地位ノ安固ナルコトヲ信スルニ至ルマテハ容易ニ正貨ノ自由輸出ヲ認メナイ危險カリ、從ツテ我國モ金ノ保有ニ付テハ慎重ノ態度ヲ探ラネハナラス。固ヨリ我國ノ物價ヲシテ成ルヘク低位ヲ保タシメ、以テ金ノ自由流出ヲ許ルスモ實際ニ其流出ノ危險少ナキ狀態ヲ維持スルコトニ努ムルヲ必要トスルガ、戰爭ノ繼續スル限り我カ貿易カ輸出超過トナルコトハ殆ント疑ナク、

從ツテ物價ノ騰貴ヲ抑制スルコトハ決シテ容易ノ業テナイ。

四

廣汎ナル輸出禁止ヲ行ヒツツアル米國カ今後更ニ輸入禁止ヲモ行フヘキヤ、之ヲ行フトスレハ如何ナル程度ニ及フヘキヤヲ推測スルコトハ甚タ困難テアル。只タ英佛ヲ初メ交戰諸國カ一般ニ之ヲ行ヒツツアルカ故ニ、米國モ亦之ヲ行フニ至ルヘシト斷定シテ、我貿易ノ前途ヲ憂慮スルハ必シモ當ヲ得ナイ。假令ヘ米國カ輸入禁止ヲ行フニ至ルトスルモ、之ヲ行フノ理由ハ英佛等ト太ニ異ル所カアル。今マ英佛等ノ之ヲ行フニ至リシ主ナル原因ヲ舉ケテ米國ニモ果シテ同一ノ原因カ存在スルヤ否ヤヲ研究スル。

第一ニ英佛等カ輸入禁止ヲ必要トセシ原因ハ輸入船腹ヲ調節スルコトテアル。此等ノ國ハ平素ヨリ輸入超過國テアツテ食物及原料ヲ多額ニ輸入シツツアツタガ、戰時ニ入ツテ此等必需品ノ國內生産カ減少シタ故、其輸入ヲ必要トスルコト益大トナリ、加フルニ莫大ノ軍需品及其原料ノ輸入ヲ必要トシ、到底之ニ充分ナル船腹ヲ得難クナツテ、其運賃モ非常ノ騰貴ヲ示スニ至ツタ。故ニ國內需用ノ切迫セサル貨物、特ニ此種ノ貨物ニシテ船腹ヲ要スルコトノ特ニ大ナル貨物ノ輸入ニ大減少ヲ加ヘ、以テ軍需品及生活必需品ノ爲メニ船腹ヲ増加スルコトトシタノテアル。米國モ亦船腹ノ缺乏ヲ感シツツアルガ、其缺乏ト云フハ輸入ニ關シテハナクテ輸出ニ關シテテアル。即

チ聯合國ニ對シテ軍需品必要品及兵員ヲ送ル爲メノ船腹ノ不足ヲ感スルノテアル。故ニ米國ハ輸入禁止ヲ行フノ必要ナク、却ツテ輸入ヲ自由ニシテ多數ノ船舶ヲ自國ニ來航セシムルトキハ、其一部分カ歸航ニ際シ聯合國ニ輸送スヘキ貨物ヲ積取ルコトトナルノ利益カアル。最モ今日巨額ノ貿易ヲ行ヘル米國カ普通商品ノ輸出禁止ト共ニ輸入禁止ヲモ行ヘハ、世界ノ船腹カ夫レ丈ケ過剰トナツテ一般ノ運賃モ下ルト同時ニ、其一部分ハ已ムヲ得ス大西洋ニ廻航シテ軍需品ノ輸送ニ從事スルノ結果トナルト云ヒ得ナイテハナイガ、併シ船腹ノ缺乏ハ世界一般ニ起レル現象デアルカラ、米國カ輸出入ヲ禁止スルモ之ニ從事セシ船舶ハ大西洋以外ノ航路ニ從事シテ充分ノ仕事ヲ見出スコトカ出來テ、必シモ危險大ニシテ且ツ運賃制限ノ強キ大西洋ニ集マルトハ考ヘラレナイ。要スルニ米國ハ船腹調節ノ爲メニ輸入禁止ヲ行フノ必要ハ極メテ少ナイト云ハネハナラヌ。

第二ニ歐洲交戰國就中英國カ輸入禁止ヲ行フコトヲ必要トセシ原因ハ正貨流出ヲ防止スルコトデアツタ。英國ハ戰時ニ入ツテ輸入ノ激増セルニ反シ輸出ハ激減シ、到底其ノ對外貸金ノ元利ノ取立及海運收入等ノ貿易以外ノ國際收入ヲ以テ、平素ノ如ク輸入超過ト相殺スルヲ得サルカ爲メ正貨ノ流出ヲ見ルニ至ツタ。然ルニ英國カ世界金融ノ中心トナリ國際的決濟所タル優越ノ地位ヲ保持シタルスレハ、同時ニ世界只一ノ金ノ自由市場トナリテ正貨ノ流出入ニ強制ヲ加ヘサルノ政策ヲ續ケネハナラヌ。是ヲ以テ英國ハ開戰後久シク金ノ自由輸出ヲ認メ、之カ爲メニ生スル所ノ有

ル不便不利ト戰ヒ、特ニ一面ニハ輸入禁止ヲ行フテ對外債務ヲ減シ、他面ニハ對外債權ノ取立及外資ノ貸入ニ努メタガ、遂ニ力盡キテ事實上金ノ輸出ヲ禁止シタ。其結果英國ハ國際的決濟所タルノ地位ヲ失フテ一時米國カ或程度マテ之ニ代ルコトトナツタ。然ルニ米國ハ既ニ述ヘタルカ如ク金ノ流出カ著シクナルノ形勢ヲ見テ直チニ其輸出ヲ禁止スルコトニ躊躇シナカツタ。米國ニシテ既ニ國際的決濟所タルノ地位ヲ保ツコトヲ斷念シテ金ノ輸出ヲ禁止シタ上ハ、此外ニ正貨流出防止ヲ理由トシテ輸入禁止ヲ行フノ必要ハナイ筈テアル。只タ諸外國カ對米輸入品ノ代價ヲ米國金融市場ニ預託スルコトヲ不利不能トスルナラハ、自カラ對米輸入ヲ差控ヘルノ外ハナイノテアル。

第三ニ歐洲交戰國ハ其國民ノ奢侈ヲ制限シ、成ルヘク實力ヲ餘サシメテ戰時公債及戰時稅ノ國庫收入ヲ潤澤ニセントシタコトモ、其ノ輸入禁止ヲ行フニ至ツタ一原因トナツテ居ルヤウテアル。戰時ニ於テ富者ノ中ニ多數ノ偶然利得者ヲ生シテ奢侈ノ增長ヲ見ルノミナラス、下層民モ一般ニ戰時工業ノ繁忙ノ爲メニ勞銀ノ騰貴セルヨリ浪費ヲ爲スノ傾カアル。此ノ如キ國民ノ浪費ヲ制スルカ爲メ貯蓄ノ獎勵ト戰時稅ノ加重トヲ行フト同時ニ、奢侈的性質ヲ帶フル貨物ノ輸入ヲ禁スルコトモ一方法タルヲ失ハナイ。只タ此目的ノ爲メ有效ニ輸入ヲ禁止セントスレハ、其禁止ヲハ國內ニ於テ同種ノ貨物又ハ代用品ノ生産セラレサル場合ニ限定スルカ、又ハ國內ニ於ケル此ノ如

キ生産ニモ禁止の重税ヲ課シ、若クハ其生産ヲ禁止スルノ方法ヲ探ラネハナラヌ。然ラスニ輸入禁止ハ國民ノ浪費ヲ制限スルノ效果ナクシテ、徒ラニ一層高價ナル浪費ヲ認ムルノ不利ヲ來タササルヲ得ナイ。米國ニ於テ普通ノ事業ハ不振ニ陥ツテ居ルガ、軍需品工業ヤ造船及軍備ノ擴張ニ關係アル諸事業ノ大膨脹ノ爲メニ經濟界ハ好況ヲ呈シ、從ツテ國民ノ奢侈モ増長シテ居ル故、最後マテ聯合國ニ對シテ財政的援助ヲ續ケントスレハ國民ノ奢侈ヲ制限スルノ必要カアル。併シ米國ニ於テ生産ノ困難ナルカ如キ奢侈品ヲ多ク輸入セシハ歐洲諸國デアルガ、此等諸國ハ戰爭ニ忙殺セラレテ此ノ如キ奢侈品ヲ多ク輸入シ來ルノ力ナク、其他ノ方面ヨリノ輸入ハ大部分原料品及食用品デアル。故ニ米國ハ國民ノ奢侈ヲ制限スル爲メニ廣泛ナル輸入禁止ヲ行フノ必要ハナイ。我國ヨリ輸入スル生絲ハ米國ノ絹織物工業ニ缺クヘカラサル原料デアツテ、其絹織物タルヤ米國民ニ取ツテ今日ハ最早ヤ奢侈品ト稱スルヲ得サルモノデアル。特ニ毛織物ノ世界的暴騰ヲ呈セル今日ニ於テ絹織物ハ比較的ニ廉價ナ織物トナツテ居ル。我國ヨリ普通ノ絹織物ノ外ニ、米國ノ生産シ難キ特種ノ絹製品ヲモ輸入シツツアルガ、其額ハ極メテ僅少デアルカラ、其輸入ヲ禁止スルモ、國民ノ奢侈ヲ制スルノ力ハ殆ントナイ。又今日我國ハ獨逸ニ代ツテ玩具ヲモ相當ニ米國ニ輸入シツツアルガ、戰爭以來米國ニ於テモ玩具製造業カ大ニ發達シツツアル故、玩具ノ輸入禁止モ國民ノ不必要ナル消費ヲ制スルノ力ハナイ。去リトテ輸入禁止ヲ行フト同時ニ米國內ニ於ケル新

與ノ競爭の事業ヲ抑壓スルコトハ國民ノ好マサル所テアラウ。要スルニ米國ハ奢侈ヲ制スル爲メニ輸入禁止ヲ行フノ必要ハ極メテ少ナイト云ハネハナラス。

戰爭以來各國ニ於テ經濟上ノ自給自足ノ思想力強マリ、利害關係ヲ有スル當業者ハ之ニ乘シテ自己ノ事業ニ對スル保護ヲ得ント運動シ、各國ノ輸入禁止ノ如キモ國產ノ保護ニ利用セラルルノ傾向ヲ有スルコトハ爭ハレサル事實テアル。只タ各國ハ戰爭ニ忙殺セラレ、特ニ勞働ノ不足ヲ感スルコトノ甚シキ爲メニ、此ノ隱レタル保護策モ充分ノ效果ヲ奏シ得サルヤウテアル。米國ニ於テモ戰爭以來特種ノ產業ニ付テハ國產獎勵ノ聲カ新タニ起リ、特ニ化學工業ニ付テ獨逸ノ勢力ヨリ獨立セントシ、又海運及造船ニ付テハ國力ヲ傾ケテ其發達ヲ圖ラントシツツアルガ、併シ米國ハ夙ニ強度ノ保護貿易策ヲ採リ來ツタ國テアツタカラ、從來自由貿易ヲ採リシ英國カ此戰爭以來反動的ニ國產獎勵ヲ高調スルニ至リシカ如キ現象ハ米國ニ於テ見サル所テアル。米國ハ多年其農產物ヲ各國ノ來リ求ムルニ任カセ、其貿易策トシテハ只管ラ外國品ヲ排斥シテ國內ノ工業ヲ保護スルコトノミニ努メタガ、近來其工業カ大ニ發達スルト同時ニ農產物ノ輸出ヲ減シ、特ニ戰爭以來工業ノ發展カ急激トナレル爲メニ、米人ハ從來ノ如ク保護ニ由リ國內市場ヲ守ルコトニ偏スルヨリモ、寧ロ其工業ノ爲メニ海外市場ヲ開拓スルノ必要ヲ感スルコトカ強クナツタガ、外國市場ノ門戸ヲ開放セシムルカ爲メニハ互讓のニ自國ノ門戸ヲモ開放スルノ必要ヲ認メサルヲ得サルコト

トナル。加フルニ現政府ハ自由貿易ニ傾ケル民主黨ノ手ニ在ルカ爲メニ一層此傾向カ高マツテ居ル。故ニ米國ニ於テハ輸入禁止ト云ヘル隱レタル保護策ヲ設クルノ運動カ激烈ニ起ルトハ考ヘラレナイ。元來産業保護ノ方法トシテ輸入禁止ハ甚タ粗大拙劣ナモノデアツテ、輸入税ニ由ルノ方法ヲ適當トスル。今後米國ニ於テ戰時財政ノ膨脹スルニ從ヒ種々ノ増税カ行ハレ、從ツテ輸入税ノ引上ケヲモ見ルニ至リ、其引上ケハ又産業保護ノ效果ヲ生スル場合カ少ナクナイテアラウガ、産業保護ノ爲メ特ニ輸入禁止ヲ行フノ必要ハナイ。無論米國ニ於テ産業保護ト云ヘハ工業ノ保護ヲ意味スルノテアリ、從ツテ我カ對米輸出品ニシテ此理由ヨリ禁輸ヲ蒙ルノ危險アルハ生絲ヤ茶テハナクテ、絹織物陶器玩具等テアルガ、曰下米國一於テモ勞働ノ不足ヲ感スルコト大ナル故、比較的ニ勞働ヲ多ク要スル所ノ我輸出品ノ如キモノヲ國內ニ發達セシムルコトハ困難デアラウ。米國ハ既ニ大統領ニ輸入禁止ヲ行フノ權限ヲ與ヘタガ、上ニ述フル所ニ由テ見レハ歐洲諸國ニ比シテ米國カ輸入禁止ヲ行フノ必要ハ甚タ少ナイ。固ヨリ各國ノ政策ハ常ニ合理的ニ行ハレルモノテナク、特ニ米國ノ政策ハ雄大果斷ト稱スヘキ場合アルト同時ニ、無謀突飛ト云フヘキ場合モ少ナクナイ。故ニ今後米國カ果シテ汎ク輸入禁止ヲ行フヘキヤ、之ヲ行フニ方ツテ我カ對米輸出品ノ如何ナルモノカ其中ニ加ヘラルヘキヤヲ想像スルコトモ甚タ困難テアル。只タ我カ對米輸出ノ中心ヲ爲ス所ノ生絲カ比較的ニ安全ノ地位ニ立ツコトハ疑ヲ容レナイ。(完)